

箕輪町 議会だより

みんなの議会



第82号
2022.11.1



ようこそ萱野高原へ

町外から訪れた家族連れ

親しみやすい
議会だよりを
目指して

- 9月定例会・議案審査 ……P2・3
- 議会日誌 ……P3
- 委員会審査の概要 ……P4・5
- 請願・陳情と意見書・現地確認 …P6
- 町政を問う ……P7～19
- がんばってます！「オレンジカフェ」
編集後記 ……P20



議会ホームページ

一般質問の様子を動画で！「町政を問う」の各議員のQRコードを読み取ると動画を視聴できます。

9月定例会

令和3年度 一般会計・特別会計・企業会計決算を認定

9月定例会は9月5日から20日までの16日間の会期で開かれました。一般質問に、12人の議員が登壇し町政運営を質したほか、令和3年度決算認定6件、条例の一部改正2件、補正予算6件、人事案件3件、議員提出議案4件の21議案（内1議案は6月定例会からの継続）が提出され慎重審議の結果、全議案を認定、可決、同意しました。

一般会計

歳入決算額 129億 5,336万円 (前年度比 5.3% 減)
歳出決算額 117億 6,696万円 (前年度比 7.5% 減)
実質収支額 9億 8,444万円

(令和2年度に比べ2億1,115万円の増)

令和3年度は新型コロナウイルス感染症から「命」と「くらし」を守るため、感染防止対策、生活支援、経済対策など様々な取り組みが行われています。

また、年間の取組の最重点施策を、「令和の時代にふさわしい地域全体で支援する子育て教育施策」として①人口減少対策の推進（若者の人口減少・定住対策、結婚支援と生活基盤の安定対策、子育て施策、ICTなど教育施策の充実とPR）、今後、人口減少や高齢化が進む中でも地域の活力を維持し、防災・交通・医療・福祉・教育などの基盤が確保され「安全・安心」「心豊かに暮らせるまちづくり」を推進するための各事業が実施されています。

企業会計

水道事業会計

給水件数は10,005件（前年度比148件増）、給水人口は23,238人（前年度比193人減）となっています。

水道事業経営に大きく影響する有収水率は79.9%で、前年度比2.6%増となっています。

水道事業経営戦略、中長期的な資産管理計画に基づき、事業のより一層の健全な経営が求められます。

下水道事業会計

特定環境保全公共下水道を含む公共下水道の普及率は97.5%となっています。

水洗化人口は21,934人（前年度比369人増）、水洗化率は90.4%（前年度比1.9%増）となり、引き続き接続を推進し、水洗化率の向上が求められます。

また、年間処理水量が増加しており、不明水対策が喫緊の課題となっています。

特別会計

国民健康保険特別会計

歳入総額 21億7,457万円
歳出総額 21億4,900万円
歳入歳出差引額 2,557万円

被保険者数4,574人（前年度比148人減）、1人当たり医療費380,003円（前年度比17,552円増）となっています。

歳出の主なものは、保険給付費14億8,467万円で歳出の69.09%を占めています。

後期高齢者医療特別会計

歳入総額 3億1,448万円
歳出総額 3億 856万円
歳入歳出差引額 592万円

被保険者数3,917人（前年度比70人増）1人当たり医療費818,320円（前年度比13,712円減）となっています。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金2億9,685万円で歳出の96.21%を占めています。

介護保険特別会計

歳入総額 21億 249万円
歳出総額 20億7,806万円
歳入歳出差引額 2,443万円

65歳以上被保険者数7,448人（前年度比78人増）、要介護認定者数1,062人（前年度比42人増）となっています。令和3年度末時点の介護・介護予防サービス受給数は、居宅介護が724人、施設介護が239人、地域密着型サービスが178人となっており、認定者数が年々増加しています。

● 条例改正

箕輪町議会議員及び箕輪町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

箕輪町議会議員及び箕輪町長の選挙における選挙運動の公費負担単価を改正

箕輪町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児休業等の取得要件の緩和と勤務環境の整備

● 人事案件

箕輪町教育委員会の委員

鳥山 暁氏（新任）に同意しました。

人権擁護委員

原 宏氏（再任） 柴 優子氏（新任）
に同意しました。

●補正予算

新型コロナウイルス感染症関連の主な施策

公共施設等感染拡大防止対策



公共施設等において、新型コロナウイルス感染症による接触感染・飛沫感染の防止、3密防止などの感染機会を削減するための経費増

33万円

保育園給食用賄材料高騰分

保育園給食の食材価格高騰に対応するための経費

130万円

診療・検査医療機関応援交付金

発熱患者の外来診療及び新型コロナウイルス感染症の検査体制を整え、その対応にあたっている医療機関に対する支援

150万円

新型コロナウイルス感染症傷病見舞金

新型コロナウイルス感染症に感染した国保加入者の個人事業主へ傷病見舞金を支給

20万円

(国)新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルスワクチンの町民への円滑な接種を実施するための経費

5,624万円

肥料価格高騰緊急支援事業補助金

経営を圧迫されている農業者に対し、肥料購入費の一部を補助(3,000円+購入費用20%)

1,900万円

DX推進事業補助金



町内中小企業が行うデジタル化に対する支援増

300万円

給食費食材高騰分支援交付金



小中学校給食の食材価格高騰に対応するため、各学校へ高騰分の費用を交付

490万円

その他、主な補正予算

集会施設改修事業補助金増	145万円	狭あい道路整備 路線測量設計委託料増	700万円
財政調整基金積立金増	21,000万円	小中学校ゼロカーボン推進事業委託料	279万円
みのちゃんポイント券発行業務委託料	151万円	小中学校 学校情報通信機器ソフトライセンス料増	435万円
保育園等おむつの園処理関係経費	328万円	消火栓取替工事の増加に伴う水道事業会計負担金増	815万円

議会活動日誌

議会活動の一部を紹介します

7月

- 4日・8日・12日・14日 広報特別委員会
- 14日 長野県町村議会議員研修会
- 26日 議会運営委員会
- 26日 議会臨時会
- 26日 定例協議会
- 28日 広報特別委員会
- オンライン研修

8月

- 4日 福祉文教常任委員会 社協との懇談会
- 24日 議会運営委員会

9月

- 5日 9月定例会開会
- 12日・13日 一般質問
- 12日 議会運営委員会
- 14日～16日 委員会審査
- 16日 広報特別委員会
- 20日 9月定例会閉会

視察研修報告

7/11
~13

福祉文教常任委員会 市町村議会議員研修 委員4人

全国市町村国際文化研修所

「社会保障・社会福祉」○持続可能な福祉社会○子育て支援と少子化対策○地域医療の課題○生活困窮者の実態と支援策○地域共生社会の実現に向けてなど。

7/14

令和4年度町村議会議員研修会 議員11人

「町村自治体の防災・減災対策と災害時の議会議員の役割」と「議会におけるハラスメント」について受講した。

7/28

議会広報特別委員会 寄居町議会とのオンライン研修 委員5人

特集や各議員の役割などをテーマに研修を行った。今後研修を活かし読みやすく親しみやすい議会だよりをめざす。



寄居町議会



箕輪町議会

8/4

福祉文教常任委員会 社会福祉協議会との懇談会 委員6人

福祉及び教育行政に関する政策提言「小学校区を基盤としたコミュニティ拠点の構築」について具体的な現状をお聞きするため社会福祉協議会との懇談会を開催した。

総務
産業

令和3年度一般会計歳入歳出決算認定

若者活躍応援事業

問 若者活躍応援事業補助金3件60万円の内訳は。

答 支給先はスケボーパーク・バランスボールを活用した健康増進を図るイベント、母子の居場所づくりを行う3つの団体に活動事業費して支給。

環境交流ツアー

問 環境交流ツアー委託費70万9,500円の内容は。

答 豊島区の皆さんに箕輪町に来てもらう機会をつくる協定になっているがコロナで来れなかったのがたの森、もみじ湖の2ヶ所のVR画像を作成、またゴーグルを作成して豊島区の子供たちに体験してもらった費用。今年度は11月に来てもらう予定。



問 環境交流とは、何をするのか。

答 たの森の整備状況を見る。木の実を使った工作などを行い箕輪町をみてもらう1泊2日のツアー。



としまの森

有害鳥獣駆除

問 有害鳥獣駆除奨励金138万7,000円の実績明細は。

答 ニホンジカ182頭、イノシシ2頭、キツネ20頭、ハクビシン5頭、タヌキ17頭、アナグマ3頭、カラス44羽、キジバト・ドバト15羽の駆除とクマ2頭の学習放獣を行った。

合併浄化槽

問 合併浄化槽設置整備事業補助金8件の内訳は。下水道接続推進との関係と状況は。

答 8件の内訳は5人槽7件と7人槽1件。令和3年度はすべて新築でいずれも下水道接続が困難な場所。下水道エリア内の住宅新築は下水道接続が条件となっている。

総務
産業

令和4年度一般会計補正予算(第5号)

教員住宅跡地

問 木下の教員住宅跡地の売却経緯は。

答 木下上一西常会にある教員住宅跡地は昭和49年に公立学校共済組合の資金で建てられ平成25年に取り壊しを行った。入札を行い売却予定。地元区は「特に必要でない」との回答。住宅適地なので早く売却したい。

ドライブレコーダー

問 公用自動車管理費・ドライブレコーダーの内容は。

答 前後タイプで取り付け料込みの価格である。今後購入する車両はすべて取り付ける。



肥料価格高騰

問 肥料価格高騰緊急支援事業の申請期間が令和5年2月28日までとなっているが、3月末にならないか。

答 決算時期もありこの時期でお願いしたい。申請書類は購入伝票、領収書となっているが注文伝票でも受け付ける。

電動車イス

問 電動車イスを赤そばの里に配置するが、もみじ湖にも配置は考えられないか。

答 実験用に配置する事は可能だが運用計画の目途がたたないため、今回補正はしなかった。初年度であり車の乗り入れ、県道の横断など問題があり今年度の導入は困難と判断した。

総務
産業

議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例改正

問 選挙運動で電気自動車を使用した場合領収書を添付できない。請求はどうするか。



答 経費負担ができるように情報を集めている。1日あたりの定額にするか、距離による算出か。役場の車両で急速充電のチャージ料金などを参考に妥当な金額を検討している。

総務
産業

令和3年度水道事業会計剰余金の処分及び決算認定

問 中曽根水源は使用負担金が多いため町にとっては良い事業ではないか。

答 (株)NTNも安価で使用でき町にとっても歳出より歳入が多いため双方にとって良い事業。

問 給水普及率が下がった原因は。

答 計画給水人口と年度末時点の給水人口の割合が普及率だが、人口減で実質の給水人口が減ったため。

査の概要

総務産業 令和3年度下水道事業会計 剰余金処分及び決算認定

問 経費回収率が令和2年度以降100%を超えているが料金改定を行ったのか。

答 料金改定は行っていない。経費回収率は汚水処理原価に対する使用量単価割合から算出する。一般会計からの繰入金もあり黒字化している。また経費節減の努力で事業費が減少している。

問 下水道エリア内の下水道未接続中古住宅を購入した場合、下水道接続義務はあるのか。

答 義務にはなっていないが、できるかぎり接続し水洗化してもらうよう進めている。

福祉文教 令和3年度一般会計歳入歳出決算認定

地球温暖化対策

問 箕輪町地球温暖化対策基礎調査業務委託はどのように調査をしたか。

答 地球温暖化対策特別委員会のワークショップで使う資料の調査を行った。

リサイクルの処理状況

問 みどりの資源リサイクルステーションに導入された粉碎機の能力はどのように変わり、処理状況は。

答 量については大量に処理できるようになった。幹の口径も以前よりも太いものを処理できるようになり、処理時間のスピードもアップしている。作業の効率化は図られたが、処理が追い付かないこともある。



伊那松島駅

問 公共交通事業費で伊那松島駅の会計年度任用職員の報酬は何人に支払われているか。

答 4人。

福祉文教 令和4年度一般会計補正予算（第5号）

フェンシング指導員

問 フェンシングの指導員についてどのような現状か

答 会計年度任用職員1人で箕輪中学校部活動の指導を行っている。火水木金と土日のうち1日指導している。平均指導時間は2～3時間、日中は長野県フェンシング協会の事務などに当たっている。

公園墓地管理料未納者

問 公園墓地管理料未納金調書で2年連続未納になっている人は。

答 8人。条例で5年連続して未納の場合は撤去することになっている。令和3年度は未納者が17人。連絡が届いているのに未納が15人。連絡がとれない人が2人。戸籍を調べても連絡がとれない人がいるため、今後の対応を検討する。

発達障がい児への対応

問 保育士の発達障がい児への対応力向上研修はどのような職員が研修を受けているのか。

答 4年目の開催となる。令和3年度は松島・沢・木下保育園で実施し、正規職員は全員研修を受けた。非正規職員でも担任を持つ職員、加配の職員は全員受けている。

問 パカパカ塾での障がい者乗馬の効果は。

答 馬に乗ることによって情緒面の発達を促す。馬に合わせて体を動かすので自分で気持ちをコントロールすることにつながっている。例年は5～6回開催しているがコロナや天候の関係で2回の実施となった。



フレイル対策

問 高齢者フレイル対策の取り組みは

答 さわやか検診の結果で体重が2kg以上減っている方には管理栄養士の指導を行っている。集団指導については100歳体操の参加者。医療や検診の受診履歴のない高齢者健康状態不明者については独居世帯などを抽出し、訪問・相談を行っている。

紙おむつ収集事業

問 保育園の紙おむつの回収頻度は

答 回収箱は1,000個梱包できる機能がある。30日間でメンテナンスする。ラミネートで抗菌できるので毎週金曜日に収集して焼却する。

● **賛否が分かれた審議** ・議長は原則として採決に加わらない。○ = 賛成 × = 反対
 ・詳細に関しては箕輪町議会ホームページで、後日議事録を閲覧することができます。

提案の趣旨	提出者	荻原	木村	釜屋	寺平	松本	唐澤	岡田建	青木	中澤	金澤	中澤千	入杉百合	中村	小出嶋	結果
		省三	英雄	美春	秀行	五郎	敏	一朗	俊夫	清明	幸宣	夏志	百合子	政義	文雄	
安倍元首相の国葬の中止を求める意見書の提出について	入杉 百合子	×	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	-	採択
	<p>【賛成討論】・安倍元首相に対する弔意を個々の国民に対して事実上強制することにつながるものが強く懸念される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法に則って物事は進んでいくことを望んでいるし、法的根拠はないということが前提である。 ・法的根拠がないものを弔意を国葬で表すということは納得がいかない。 <p>【反対討論】・町民の皆さんも理解が浸透していないのも事実。しかし一定数は賛成の方もいるのは間違いない。1週間前に中止した時の国益に対し、マイナスになることも考慮すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今のタイミングで国葬反対を打ち出しても海外から見るときに日本の国力も含めて良い評価はされなくなる。 ・国葬というものに対しそれなりの姿勢を持つことが大事。 ・首相在任期間が最長であり、内政外交とも大きな成果を生み、国際社会から幅広く弔意が寄せられている。 															
国葬に関し明確な根拠となる法整備を求める意見書の提出について	荻原 省三	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	-	採択
	<p>【賛成討論】・国民の大多数が法的根拠がないものをどうしてやるんだという考え方がある。そこで法的根拠を求めていくということが妥当だと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国葬の賛否を問うには、諸々の話を法整備してきっちりしようということ。 <p>【反対討論】・弔意や敬意というものの強制にあたるのではないかと考える。よって法律を整備すること自体が今の憲法に相反することだと思う。</p>															
「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願書	宮下 愛	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	-	採択
	<p>【反対討論】・箕輪町における不登校児童生徒の実態把握がされていない中での議論は拙速である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリースクールの目的は学校へ戻さないということが前提であり、これは教育委員会との考え方に相違がある。教育委員会とのすり合わせが必要ではないか。 ・取り組む課題は経済的支援というよりも親の意見また先生の意見をもう少し聞いて何が問題なのか。児童生徒一人ひとりに丁寧に接することが大事。 															

● **意見書の提出**

可決された意見書	安倍元首相の国葬の中止を求める意見書
	国葬に関し明確な根拠となる法整備を求める意見書
	不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書
	国民健康保険の交付金減額制度の見直しと18歳までの医療費無料化を求める意見書(6月定例会からの継続)

現地確認

合同現地確認

総務産業常任委員会
 福祉文教常任委員会

もみじ湖の紅葉時の
 渋滞対策箇所



日時 9月15日
 出席者 13人

総務産業常任委員会

ながた自然公園
 アスレチック修繕箇所



日時 9月15日
 出席者 6人

福祉文教常任委員会

みどりの資源リサイクル
 ステーション
 枝幹粉碎処理状況



日時 9月14日
 出席者 7人

合葬式墓地建設
 工事現場



日時 9月14日
 出席者 7人

町政を問う

ここが聞きたい



長岡神社本殿（町有形文化財）本殿は寛政11年（1799）から享和元年（1801）にかけて諏訪立川流の初代宮大工である立川和四郎富棟によって造られた。江戸期の建築は装飾彫刻に特徴があるが、本社殿の周りを埋め尽くす装飾彫刻は、誠に躍動的で壮観である。立川流全盛期の代表作として大変貴重であり、また保存状態も極めて良好である。



解説

長岡神社は、元は八幡宮と称し、長松寺の鎮守であったとされる。明治5年（1872）に村社となり、明治41年（1908）に地名をとって長岡神社と呼ばれるようになった。

主な質問	議員	ページ
障がい者の医療費窓口無料化に	松本 五郎	8
危機管理型水位計の住民周知を	釜屋 美春	9
ゲノム編集トマト苗の無償配布、町の対応は	金澤 幸宣	10
決算は年々次年度の繰越金が増えているが	青木 俊夫	11
ゼロカーボンシティ宣言後の活動の進め方は	中村 政義	12
みのわテラスの課題をどう考えているのか	荻原 省三	13
桑沢川砂防ダムの再生が必要と考えるが..	中澤 清明	14
重いランドセルの心身への負担が懸念される	入杉百合子	15
中学生の平和学習で被爆地・広島への訪問を	岡田建二郎	16
旧統一教会イベント後援取り消し判断を	中澤千夏志	17
空き家をめぐる状況が変わるが取り組みは	寺平 秀行	18
関係人口創出拠点として長岡周辺の開発を	唐澤 敏	19

一般質問を動画でご覧いただけます



※視聴にはQRコードリーダー（アプリ）が必要です。
 ※動画視聴には通信料が発生しますので、Wi-Fi等の利用を推奨いたします。
 ※QRコードは㈱デンソーウェブの登録商標です。

一般質問はどなたでも自由に傍聴できます

一般質問は、年4回の定例会（3月、6月、9月、12月）で、町政全般にわたり町長その他の執行機関に対し、自由な質問内容を開会日の翌日正午までに議長に通告することとしています。議員一人の制限時間は55分で、一問一答方式を採用しています。9月議会では、9月12・13日の2日間に、12人の議員が質問しました。



まつもと ころう
松本 五郎 議員



障がい者の 医療費窓口無料化に

町長 現時点では考えていない

問 今年の8月から18歳までの子どもの医療費が、受給者負担金の付かない完全窓口無料化になった。しかし、障がい者への窓口無料化はまだ実施されていない。障がい者は病気になると長引き、入院すると結構高額な金額になる。窓口で支払った医療費は後日償還されるが、戻されるのは3ヵ月後であり家計は大変な事態に陥る。障がい者への医療費窓口無料にするべきでは。

町長 償還払い制度を取るか、現物給付方式をとるかと言えば、福祉医療として給付している事には変わりがない。現時点では障がい者窓口無料化は考えていない。

社会的な状況に 力を注ぐべきでは

問 食事代・おむつ代等の医療費以外の負担も多くかかる。他の地域の下諏訪町では食事代も福祉医療の対象にしている。弱者対策とはこのような社会的な状況に力を注ぐべきではないか。

町長 確かに食事代の助成を行っている市町村もある。箕輪町では食事代については入院しても、在宅で生活しても必要な費用と考えている。現時点では福祉医療の対象にすることは考えていない。

問 障がい者が福祉サービスを使用するとき、障がい者手帳を持っていることや障がい支援区分をとることが必要になる。その判定に2ヶ月掛かり、その間はヘルパーを頼むことができない。しかし介護保険はできる。理屈が同じなのにおかしく感じる。

町長 事例をどのように考えるかが問題。脳血管疾患などで介護が必要になった場合は介護サービスによりヘルパー利用を可能にしている。新たな障がいに移った時でも対応できると思う。

バリアフリーに改築を

問 経済的に困っている障がい者は住むところに苦勞している。町営住宅はバリアフリーではないため、改築が必要では。



バリアフリー化されていない町営住宅

町長 町営住宅は87戸のうち16戸がバリアフリーになっている。健常者・障がい者を問わずバリアフリー化は当たり前。しかし募集をしても入居の状況がない。障が

い者向けの住宅を想定した場合、見込みがあるか分からないので見極めながらだと思う。

すべての屋根に 太陽光パネルを

問 地球の温暖化で深刻な事態に陥っているなか、燃料の高騰で住民の暮らしは大変。また電気料の高騰は底知らずである。今後は自然エネルギーを活用することが重要である。田畑にパネルを設置するのではなく、すべての住宅の屋根にパネルを取り付け、家庭の電気を太陽光で賄うくらいの目標をもって取り組むべきではないか。



住宅の屋根に設置している太陽光パネル

町長 2030年度を目標にして実質60%二酸化炭素の排出量削減の目標を目指す。家庭・事業所・公共施設それぞれのところで省エネ対策や、再生エネルギーの導入を取り組んでいく。全世帯は難しいが、3,300世帯への設備設置を目標にした。

危機管理型水位計の 住民周知を

総務課長 区長・防災士に通知済み次は町民



かまや みはる
釜屋 美春 議員

問 町内 12 か所にある危機管理型水位計は自宅に居ながら町内主要河川の水位がわかるもの、住民周知が必要ではないか。みのわメイトのハザードマップから県や国の防災情報にリンクさせること。全戸配布された防災ハザードマップから「川の防災情報」や「長野県河川防災ステーション」に直接リンクできるように QR コードをつけてはどうか。



深沢川の危機管理型水位計

町長 みのわメイトは現在 7,306 人が登録。今年はメッセージの複数選択、一括削除、既読化、音声の自動再生機能のない iPhone への対応などの追加を検討している。今回防災カテゴリを作成したので、今後は気象庁の「キキクル」や国交省の「川の防災情報」にリンクさせ充実していく。

総務課長 危機管理型水位計は区長・防災士には知らせた。今後町民に周知する。

通学カバンの重さ対策を

問 児童生徒の通学時のカバンが時には 7kg にもなるという。背負うカバンの重さは体重の 10% が望ましいと言われている。文科省は学校に教科書などを置いて帰る「置き勉」を進めているが状況は。

教育長 重要な問題ととらえている。各学校では、家庭学習に使わない教科書や資料集は学校へ置いて必要最低限を持ち帰ることや、長期休みの前後は持ち帰りの日を分散するなど工夫しているがさらに指導していく。



カバン以外にも荷物がいっぱい

ふるさと納税の 使い道の拡大を

問 ふるさと納税の寄付金の使い道を、町民が町民のために活動している分野である「子ども食堂」・「スポーツ振興」・「動物愛護」などの活動にも使えるよう提案する。



譲渡会で新しい飼い主を待つ子犬

町長 今まで財源がなくてできなかった新しい事業を生み出すために基金を使っていく発想もある。例えば、殺処分ゼロに向けて活動している諸団体への応援も考えられる。令和 4 年度か 5 年度のふるさと納税の使い道の指定をどうするか検討する。

人生100年時代 生涯現役の町を

問 日本老年学会・医学会が、「高齢者の定義を」75 歳以上に見直すことを提言した。昔より心身共に 5～10 歳若返っているという。杉並区役所では「シニアの就業起業地域活動応援事業」という窓口があり「正社員、パート、副業、起業、ボランティア、NPO 活動、地域活動等の多種多様な働き方を応援します。」とある。当町でもシニア向け相談窓口の設置を提案する。

町長 高齢者としての時間をどう過ごすかが人生の充実度や満足度につながる。今までの経験や知識を生かしてもうひと踏ん張りしていただくために、高齢者のクラウドソーシングが可能か検討したい。NPO 法人、協働労働などの仕組みの中でできればと思う。働くこと、生きがいという両面で必要な事業と考える。

ゲノム編集トマト苗の無償配布、町の対応は

町長・教育長 推奨すべきでない。慎重に判断



かなざわ ゆきのぶ
金澤 幸宣 議員



ゲノム編集された苗の無償配布が懸念されるミニトマト「シシリアンルージュ」

問 シシリアンルージュにゲノム編集を施したトマト苗が全国の介護福祉施設等に無償配布され始めた。町の対応はどの様にするか。

町長 新しい技術であり、一般消費者に説明されていない。県内及び近隣市町村にはまだ受け入れ事例がないが、町としては積極的に受け入れを推奨すべきでない。

問 同様に来年度から全国の小学校にも無償配布が予測される。教育委員会の対応は。

教育長 安全性の理解周知が進むまでは状況をしっかり確認し、慎重に判断してゆく。

問 人類の食糧危機を救うとされるゲノム編集食品が今後増えるかもしれない。ゲノム編集食品に対する町長の所見及び対応は。

町長 基準が定かでない、長期的な影響と安全性の確証が推奨できない。慎重に判断すべき。

3期目を目指す町長 現在の心境は

問 『町長への手紙』は、いずれも町民側からの声。「町民が主役、行政は黒子」が町長の持論。逆に町長も黒子の一人。主役の町民に何か一つ望むとしたら何か。

町長 高齢化に伴い地域に後継者がいない。よって、行政に頼る風潮が強まっている。コロナによる自粛影響もあり内向きな状況がつけられている。「まちづくりは、行政だけがするものではない。また出来るものでもない。住民、町民、民間の皆さんが同じ立ち位置でプレーヤーとなって課題解決してゆく必要がある。」コロナで一年半一緒に出来ず、町民との間が少し開いたと感じている。そういうことのないよう、3期目の最も大きなスタンスとしてやって行く。

問 我がまちの魅力に更に磨きを掛けるとしたらどの様なことか。

町長 住み易さ、暮らし易さ、利便性は県内でも高い位置にあり、行政的手法の課題対応も平均点より上と思う。子育てと教育について「箕輪町は良くやっている」「農業はじめ産業が優れている」と言われるようになりたい。教育無くして成り立たない。政策的な課題を踏まえ町の魅力を引き出し、情報発信することで更に箕輪町として磨き、輝きが出てくる。

投票日終了時刻 繰上げの可能性は

問 選挙毎に期日前投票率が急激に上昇している。仮に、投票日の終了時刻が繰り上げれば、開票作業開始も繰り上がる。勿論、全投票所の投票が終了していることが前提である。結果、翌日も勤務する役場職員の負担軽減に繋がる。実現の可能性はあるか。

選挙管理委員長 町選管が所管する町の選挙ならば法的には可能であるが、投票機会を削る割合が大きくなる。多面的・総合的に論議し慎重に行う。

問 現状で開票作業員の負担軽減策は何か考えられるか。

選管長 1998年に終了時刻が18時から20時に延長された。読み取り分類機の導入で、2010年開票従事者57人、終了時刻20:58分⇒2022年45人、20:23分に減少している。負担軽減の提案質問はあり難いし、嬉しい。



多くの職員が動員され行われる開票作業 (役場講堂)

その他の質問

- 小学校のクラス替えについて
- 諸物価高騰の行政対応について

決算は年々次年度の繰越金が増えているが

町長 必要な事業は適正な執行を行った



あおき としお
青木 俊夫 議員

問 次年度に繰り越す金額、比率が増加傾向にある。決算剰余金は多ければ良いというものではないと考える。行政の場合は民間の黒字決算とは概念が違う。予算執行率を含めて次期予算編成等で留意する事は。

町長 確かに実質収支額は黒字であれば 額が多ければ多いほど良いというものでもない。経験的に標準財政規模の3%~5%程度が望ましい。当町の標準財政規模は71億円であるので大体3億5500万円位になる。実質収支額9億8444万円、13.8%は当町の状況は少し多めか。増えた要因は新型コロナの影響による事業執行の影響とか町税等がイレギュラーな状況であったので、やむを得ない状況であった。予算編成では適正な執行をして不用額を出していく。そういうことを予想した予算編成になっており、単に事業を執行しなかった、また必要な事業をやってこなかったゆえに増えたものではない。

町の将来像をどのように考えるか

問 高齢社会のピークを迎え少子化が一段と進むと懸念される2040年問題。町も第5次進行計画は概ね10年単位で策定されてきているが、今後は15年、20年といった長期間を見据えた政策形成が必要。

行政運営、事業を推進する上で、急速に進む少子化の影響をどのように捉えているのか。

町長 人口減少に対し、どういった町づくりの方向性を示すかという事。人と仕事、教育、福祉等レベルアップしていかないと今までの暮らしが維持できない。

2040年には一人の高齢者を1.2人の現役世代で支えなければいけない時代。人口増の時代に実施した公共施設やインフラが老朽化し、それを更新しなければならない。上下水道の公営企業も同じ。2040年問題をクリアーできる行政体にしていかなければならない。

少子化における学校への影響は

問 児童数、生徒数の減少により地域によっては違いがあるものの、学級の規模がますます縮小されることが予想される。小規模校、少人数学級のメリット、またデメリットは。

教育長 メリットは手厚さ小回りの良さ、そして地域密着である。子供一人にかかわる教師の時間が長くなることで、よりきめ細かな指導ができる。また子供一人にかかる役割の数や重さが大きくなる為、活躍の機会が増えることにより成長する。

一方デメリットは集団の母数が小さいために、人間関係が固定しや

すく、多くの人と関わることに苦手意識をもちやすいこと、大集団で作り上げるダイナミックな活動を経験できないこと等。デメリットを最小化する取り組みとして小規模校間の交流であったり、地域行事へ積極的に参加する等。

木ノ下駅近くに待合所の設置を

問 進修高校生は箕輪町以外から通学する生徒も多く、在校生の7割以上が利用している。多部制ということもあり、帰りは夜9時を過ぎる生徒もいる。安全面からも設置を要望するが。



駅で電車を待つ高校生

町長 飯田線の活性化という事も含めて町内3駅をいかに利用しやすい方向にもっていくかという課題もある。必要性は感じている。各駅のトイレ問題が片付いた後に建設する方向で考えたい。

その他の質問

●デマンドタクシーの実証実験の報告を受け、今後本格運用するのか



なかむら まさよし
中村 政義 議員



ゼロカーボンシティ宣言 後の活動の進め方は

町長 町内スーパーで啓発活動を展開

問 ゼロカーボンシティ宣言後の活動、具体的にはどう進めていくのか。

町長 町民の皆さんに、地球温暖化対策の認知度・理解度を高めていただきたい。10月に町内スーパーで街頭啓発イベントを実施。全戸配布用リーフレットも作成。新たな委員会を設置し、推進体制を決めていきたい。

問 町民に理解を求めるという意味で、小学生を対象にポスターコンクールを開催してはどうか。

町長 各学校でいろんなものを受け持っている。ただちにできる状況ではないと思うが、教育委員会と相談して対応したい。

問 太陽光発電の最大のデメリットは取り付け費用が高額な点。またパネルの維持等の費用もかかり最終処分はどうなるのかも不安であるが。



太陽光の屋根載せ型

町長 取得費用高い、ランニングコストとの問題等は補助金の活用が必要。県が行っているものもあるが、できるだけ経費がかからず設置できるよう手法を考えたい。場合によっては町としての後押しも必要だ。

住民環境課長 処分については、日本では77%がリユースされ23%がリサイクルもしくは埋立処分されている状況。昨年にはリサイクル率が95%という処理業者もできている。適正に処理できると考えている。

小中学校の現況は

問 夏休み明けの児童生徒のコロナ関係、不登校の増減等に変化はあったのか。

教育長 コロナ関連については夏休み明けにはかなり多い状態で、学級閉鎖もいくつかあったが現在は落ち着いて登校できている状況。不登校は、一学期に登校できなかった生徒が、二学期から登校できている状況がある一方、夏休み中生活のリズムが崩れ登校を渋る児童の姿もあった。体調がすぐれない最初の一週間、つらそうな生徒もいた。総じて町内の小中学校の夏休み中、大きな事故や問題もなく、順調な二学期のスタートを切れている状況。

問 非正規教職員の実態は。

教育長 実態として非正規教職員数は増加している。それが正規職員の負担にはならない。箕輪町で

は効果的な利用状況で、正規非正規を問わず学校が運営されている。

問 中箕輪尋常高等小学校の駒ヶ岳遭難は、当時の考え方や生活等は変化してきているが、この遭難事故をどう語り継いでいくのか。

教育長 当時の社会情勢や教育の様子、時代背景もあり、集団登山を実施し、遭難後も学校登山を大切にしてきた経過があった。コロナ禍の密回避で、山小屋に宿泊することができず、往復ロープウェイを利用した日帰り登山を実施、このため三年間は遭難碑へのお参りはできない現況。中部小学校で毎年行われる慰霊祭や、中学校の西駒登山での意識づけをし、この大切な歴史の記憶が風化しないよう考えていきたい。

問 来年は遭難から110年になる。有志でロープウェイを利用して慰霊碑まで行けないか。

教育長 イベントを開催したいとの提案ですが、ロープウェイで行き記念碑まで行くのは厳しい、実現可能かは考慮。

その他の質問

- 介護保険の財源不足と人材不足への対応策は。
- コロナウイルスの感染等の状況は。

みのわテラスの課題を どう考えているのか

町長 駐車場不足を解決することが大事



おぎはら しょうぞう
荻原 省三 議員

問 みのわテラスの周辺環境、駐車場の課題をどう解決していくのか。また、農家所得向上のため食のイベントを増やしてほしい。

町長 本来の目的である「農」を前提とした販わいづくりや交流の拠点、一帯を街の代表的な農業地帯にしていくという観点で言えば、観光農園を含めてまだ十分でない。周辺地域の開発や駐車場不足は喫緊の課題である。周辺は一種農地であるためなかなか打つ手がなく、農振除外を含めて検討したい。今後新しい方向性を持ち、指定管理者の皆さんと打ち合わせをしながら進めていきたい。

副町長 農家の所得向上を考えると直売所で売ることがまずは大事だと思う。学校給食への提供量の増加や、インターネットの販売が9月中旬頃から開始される。また、農産物を加工し付加価値をつけて販売額を高めることも必要だと思う。食を中心としたイベントが少ないという指摘には、今後イベント展開の中で参考にさせていただ



食のイベント

く。ファームテラスでは畜産物フェアなども行っているが実際の仕入れ量も少なく目立たない。今後はJA上伊那の直売所で行われている大きな畜産物フェアも参考にJAと協議をしていく。

再度！ながた荘は活かしてほしい

問 ながた荘はぜひ残してほしい。町民の皆さんや町外のシニアの皆さんの癒やしの空間が必要だと思う。集客のためにながた荘のイベントも考えてほしい。

町長 近隣の自治体においては営業の休止や終了が明らかになり、自治体の宿泊施設の運営は大変厳しい状況に来ている。当町みのわ振興公社においても2期連続の赤字で厳しい状況に変わりはないが、箕輪町において観光施設はながた荘などを抜きにして語れない。町内の皆さんにも使っていただき、町外からお越しいただいた皆さんのおもてなしにも利用して



ながた荘

いただきたい最適な場所だと思っている。なんとか維持する方向で考えているがイベントに関しては厳しい状況だと思う。

「電気を買わない町宣言」を出す

問 「電気を買わない町宣言」を出し補助事業を積極的に進めていくべきと思うが。

町長 国に今申請している事業が採択された段階で、町として後押しをすることを考えていきたい。全く買わないというわけにはいかないのが実態だが、非常に面白い提案だと思う。大胆に言わないと事が始まらないという気もするので参考にしたい。



みのわテラス駐車場



太陽光発電

桑沢川砂防ダムの再生が必要と考えるが..

町長 必要性は認める 検討したい



なかざわ きよあき
中澤 清明 議員



問 桑沢川は1時間当り14mmの雨で排水能力を超えてしまう町で1番危険な川で、昨年8月の豪雨でも大きな被害を出した。上流の桑沢川砂防ダムは土砂の堆積で埋まり、砂防治水機能を失っている。
①桑沢川ダムの再生の必要性についてどう考えているか。②町では再生に向けてどう取組むのか。



アレチウリでガードレールが見えない

①次のような町をあげての取組みをしてはどうか。

- ・ 駆除の必要性を広く町民に啓発する。
- ・ 全町一斉駆除の日を作るなどみんなで行動する。
- ・ アレチウリ駆除専門部隊を設置するなど。

②子供の頃からアレチウリの害や駆除について教え、駆除体験をさせ、アレチウリを見つけたら除去できる子供を育てたらどうか。

町長 ①提案いただいた全町運動は非常に有効だと思うので検討させていただきます。

教育長 ②小さいうちから問題意識を持つこと、駆除についての正しい知識、実行に移す意欲を育てることは大切と思う。環境教育、総合的な学習時間等で意識するよう町校長会で話題にしていきたい。

安倍元首相の国葬について

問 政府は安倍元首相の国葬を閣議決定したが、安倍氏の政治的評価はこれからであること、多額の

国費がかかること、拙速で異例な閣議決定であることなどから国民の反対の声は日増しに大きくなっている。①国葬について町長の感ずるところは。②国葬について国から協力依頼は来ているか。また町の対応はどのようにするのか。

町長 ①政府が正式に国の儀式と決めたものには自治体はそれに沿って対応すべきものと思う。②国からの要請等は全くない。首相が国民に弔意表明を求めないと言っているので町としての弔意表明はしない。

コロナ感染実態と町のサポート

問 感染が急拡大し、誰がかかっても不思議でない状況となっており、不安な声が聞かれる。①町ではどの程度感染実態を把握しているのか。②感染家庭に対し町はどのようなサポートをしているのか。

町長 ①基本的には県が毎日報道発表している数値と保健所から提供される自宅療養者の名簿のみである。②感染者への支援も在宅療養者を含めて基本的には保健所に対応することになっているが、町でも相談を受ければ福祉、健康部局で対応するよう用意している。



土石流をとらえるはたらき

資料提供：
NPO法人土砂災害
防止広報センター

町長 ①本来の治水砂防機能については危惧を感じている。最近の豪雨では下流域の住宅とか道路への影響が大きいので新たな堰堤も必要と思っている。

②平成26年に建設事務所で流域調査をしたが、用地の買収または借り上げが不可能ということから頓挫した。必要性は十分認識しているので、沢区とも相談しながら取組んでいきたい。

アレチウリの駆除について

問 今年もアレチウリが猛威を奮っている。元長岡新田住民がこまめに草刈りをしているもみじ湖への道路土手は殆ど発生していない。アレチウリ駆除にはこまめな草刈りと幼苗期の抜き取りが効果的。

重いランドセルの心身への負担が懸念される

教育長 既に軽量化の取り組みをしている



いりすぎ ゆりこ
入杉 百合子 議員

問 9割以上の小学生が、ランドセルを重く感じ、3人に1人は体の痛みがあるという。子どもの小さな体への負担が懸念される。問題は水筒や、教科書などの中身。学校は対応を何か検討しているか。

教育長 各学校では既に軽量化についての取り組みを始めている。教科書は使うものだけ持ち帰る。水筒は学校で水を入れるという案もあったが検討中。教科書の持ち帰りをせず、一人1台パソコンにデジタル教科書を入れて持ち運びをという案も数年かかりそうだ。校長会で提案したいのは「ノーカバンデー」をつくって登校する日を決め、本当に持ち帰らなければいけないものは何かというのを、子ども達と先生方で一緒に考えて子ども自らが持ち物を選ぶ力をつけていくことで、カバンの中身の軽量化もできるかと思っている。



重すぎる小学生のランドセル

旧統一教会と親守詩への関わりは

問 箕輪町が何らかの形で旧統一教会へ関わりを持っていないか、または関連団体への後援はしていないのか。今後、後援可否の判断を慎重に行うための基準を検討すべきではないか。

町長 旧統一教会との関わりは、町としても、私自身も関係ない。本年度の「親守詩」長野県大会の後援をしている。今後は基準に従い後援依頼者の意向を聞きながら慎重に判断していく必要がある。

問 「親守詩」への教育委員会の見解と大会への後援は。

教育長 短歌で子どもが親への感謝を表現し、親がそれに答えて親子の絆を深めるという趣旨に異論がなく、町教育委員会としても今回は後援を取り消しにはしない。町内の学校に参加を促すということとはしていない。

地域自治組織の役員在り方検討を

問 人口減少高齢化で、地域自治組織の役員のなり手不足が深刻。持続可能な在り方を検討すべきだ。

町長 町から依頼する役員については、職の必要性や選出単位などの見直し検討を内部的に進めてい

る。地域の中での助け合いができるシステムも作りたい。区や常会などでもこの問題を検討して、若い皆さんも区の役員に出て行くという意識付けもお願いしたい。デジタルデバインドについて現時点で困っている部分については検討するが、積極的な対応はない。

木下保育園の園庭工事は適切か

問 木下保育園の中庭の芝生の箇所が凸凹で危ないのではないかと。9月1日、町に短時間大雨が降った時、園庭の北側はプールのような水溜まりになった。園庭の工事は適切な施工が行われたのか。



木下保育園凸凹の園庭

子ども未来課長 園庭芝生の整備は、ハンドローラーで慣らし、姫高麗芝を敷き詰めた。検査時には生育が悪く、現在も生育が不揃いで歩きにくい。生育を見ながら春先頃再度転圧をする予定。園庭北側は、雨水排水設備の工事をし、雨水貯留槽へ集水する仕組みだ。今後の対応は、今回のような水溜りが生じた場合は、長時間保育用の玄関を使用するなどの対応をとり安全に登園できるようにする。

中学生の平和学習で 被爆地・広島への訪問を

教育長 平和の学びを深める大切な機会



おかだ けんじろう
岡田 建二郎 議員



問 本年2月にロシア政府がウクライナへ軍事侵攻し、平和学習の重要性はかつてなく高まっている。平和学習の一環として中学生を被爆地・広島に派遣し、平和や戦争・核兵器について、被爆者の証言や戦跡に直接触れる機会を設けてはどうか。



教育長 広島への派遣事業を実施している高森町に勤務した際、中学生の事前学習・事後学習などの様子を見て、大事な学習の場だと感じた。生徒だけでなく、保護者や教職員にとっても大切な機会であり、平和学習を肌で触れて感じる事ができるよう検討したい。

中学生の海外研修事業の見直しは

問 コロナ禍以前から希望者の不足などにより事業が実施できず、①英語圏に拘る必要がない②参加費用の負担軽減③他自治体との共同事業の是非について改善を再三申し入れてきた。子どもたちの貴重な学習の機会を保障するためにも早急な改善を。

教育長 子どもたちが海外で実際に体験する事で得るものはとても大きい。このままで良いとは考えてなく、これまでの視点を変えて

大胆な変更も視野に入れて検討したい。

医療・福祉事業所の 実態把握を

問 県内各地の事業所で職員や利用者の感染確認による休診や休業が報告され、経営母体の小さな事業体ほど休業による損失を補えずに苦労している。また、福祉事業を利用している方は、複数の事業所を跨いでサービスを受けている事がある。事業所間の感染拡大防止と負担の軽減は喫緊の課題であり、行政としてコロナ禍の医療・福祉現場の実態を把握し、必要な施策をより早く講じるべきではないか。

町長 町内にどれだけの感染者がいるのか、県発表以外の情報がないため、福祉施設等がどういう状況にあるか承知できない。横の連携の確認など必要性は認識しているので、事業所の実態把握について検討したい。

児童の救急受診 費用の負担軽減を

問 救急の現場では院内感染を防ぐために症状がなくてもPCR検査を実施している。患者が児童の場合は、保護者も付き添いで診察室に入るため、PCR検査を受けざる

を得ず、初診料が請求される。コロナ禍でなければ必要のない費用であり、受診抑制が生じないよう、行政が費用を負担してはどうか。

町長 今回通告を受けて初めて課題を認識した。救急での受診の場合、初診料として今後7,700円に上がることも踏まえて、対応できるように検討する。

木下保育園投票所の 利便性向上を

問 本年4月以降の複数の選挙を通じて、木下保育園投票所の動線が長く、高齢者に限らず不便を感じている方が多い。①駐車場から投票所への距離を短縮できないか。②高齢者から靴を脱ぎ履きするのが大変という声を聞く。靴を履いたまま投票できる工夫を検討できないか。



木下保育園の廊下

選挙管理委員長 ①私も歩いてみたが確かに長いと感じた。秋の町長選に向けて、関係者の意見を聞きながら利便性の向上に努めたい。②投票所として借りている施設の管理者とも相談し、高齢者や障害者に配慮した投票所運営となるよう努めたい。

旧統一教会イベント後援 取り消し判断を

町長 後援継続を決定



なかざわ ちかし
中澤 千夏志 議員

問 町と教育委員会が後援をしている。靈感商法など、カルト教団の不法行為に行政トップや国会議員がお墨付きを与える行為につながる支援関係は断ち切るべきだと思うが町の認識は。松本市でも短歌の催しの後援を決めたものの、世界平和統一家庭連合との関わりが問われる団体関わっていることが市民から指摘され8月9日に松本市は親守詩長野県大会の後援許可の取り消しを発表した。

町長 当町では5月20日に後援申請をいただき、6月3日付けで許可をした。今言われた団体については8月8日に取り下げの通知がなされ、後援継続を決定した。

ながたの湯周辺に 街灯設置を

問 ながた自然公園キャンプ場の利用客が徒歩でながたの湯に通っているが街灯がなく真っ暗。街灯の設置を。

町長 距離があり、歩道もないため車移動をお願いしている。街灯設置は地域でと思っているが町が率先して実施すべき場所なので検討したい。必要性は感じるが安全面では夜間の徒歩はすすめられない。

トラックが対向車線に 出て危険

問 与地辰野線へハナモモの枝がはみ出している。大型パネルトラックが対向車線に出て回避するため危険性が指摘されているが対策は。



枝がはみ出して危険な与地辰野線

町長 大出山口の指摘箇所は花街道推進協議会と町で伐採などをした。町でも一部予算計上しているが、安全性の厳しい箇所以外は同会で対応してもらおうべき。

資格ある方で 災害ボランティアを

問 6月の箕輪町消防委員会で団員の減少に歯止めがかからず、災害時の出勤をはじめ日頃の活動にも支障が出ていると指摘されている。辰野町は昨年の8月豪雨を教訓に「辰野お助け隊」というボランティア組織を立ち上げるとして8月から募集を開始している。重機オペレーターや医療福祉関係者な

ど技術や資格がある方の災害ボランティア登録から消防団への門戸を広げてはいかか。

町長 辰野町の災害対応ボランティアは早期の災害復旧に対応できるのではないと思う。重機オペレーターや看護師など有資格者を入れていく機能的消防団の制度をOBだけでなく広げていく意味合いでよいと思う。今後消防委員会や消防団にお伝えしていきたい。

職員給与の処遇改善を

問 介護士・保育士・学童保育の指導員の処遇改善策として今年2月3%程度の賃金引き上げが行われた。一方6月議会で職員給与パートタイム会計年度職員の報酬・給与に関する条例の一部改正が行われ年度末手当常勤者で0.10ヶ月、会計年度職員で0.075ヶ月引き下げられた。介護職員・保育士・学童保育指導員の処遇維持のために期末手当の引き下げ対象外とすべきでは。

町長 そういう感情を私自身はもっている。賃金単価・報酬単価については他の団体と比べても遜色がない状況だと思う。率の問題をあまり職種によってプラスマイナスしていく方法は制度設計が難しくなると思う。

空き家をめぐる状況が 変わるが取り組みは

政策調整担当課長兼
みのわの魅力発信室長

空き家活用の促進等、取り組む



てらだいら しゅうこう
寺平 秀行 議員



問 空き家をめぐる状況が大きく変わろうとしている。2023年、全国的な統計では世帯数が減少に転じると予想されている。これまで単身世帯の増加などにより世帯数は増えていた。これがいよいよ人口と世帯が同時に減少する時代に突入する。これにより、空き家が急速に増えると言われている。来年には空き家が全国で1,000万戸を突破すると予想されている。さらに相続土地国庫帰属法が2023年、来年スタートする。これは相続等によって取得した土地の所有権を国庫に帰属させることができるという制度で、言い換えると相続した不要な土地の所有権を国に納めることができる制度となっている。空き家を壊して更地にした上で国に納める動きが加速すれば固定資産税にも影響すると思われる自治体も対応が求められる。箕輪町の現状は住宅総数1万1,100戸、そのうち空き家が1,660戸で特に対策が必要な空き家は520戸とされている。

箕輪町の空き家等対策計画を見ると、最終年度である令和7年度における空き家等の数を388戸とすることを目標としている。町としての取り組みは、

政策調整担当課長兼みのわの魅力発信室長
空き家の戸数では、令和2年度末で431戸、令和4年8月末現在で現在424戸。空き家対策の取り組み

を箕輪町空き家等対策計画に基づいて実施している。この対策計画には4つの取り組みがあり、一つ目には空き家等に関する情報の把握、二つ目は空き家の適切な管理の促進で、空き家所有者への啓発、また情報提供を行っている。三つ目は空き家、空き地の活用の促進ということで空き家、空き地バンクの実施、4つ目は管理不全空き家への対処ということで、空き家の解体等について補助制度を実施して、老朽化した空き家の減少または危険な状態になる前の建物解体と建物跡地の有効利用を促進している。また倒壊等著しく安全上危険となるおそれのある空き家は特定空き家に認定して危険性の状況に応じて空き家法に基づく法的処置を講じている。このような危険な空き家を発生させないためにも情報の把握、適正な管理の促進、活用の促進等について取り組みをしっかりと行うことが重要と考えている。

飯田線の活性化策は

問 国土交通省が地方鉄道の見直しに関する提言をまとめ、国が主導して存続か廃止かの路線ごとの議論が本格化する。JR東海はローカル線ごとの収支を公表していないが飯田線も議論の対象にならないという保証はない。伊那松島駅

もJR社員の無人化が実施されるなど経営は楽ではないと思う。飯田線の利用促進について



活性化策が待たれる飯田線

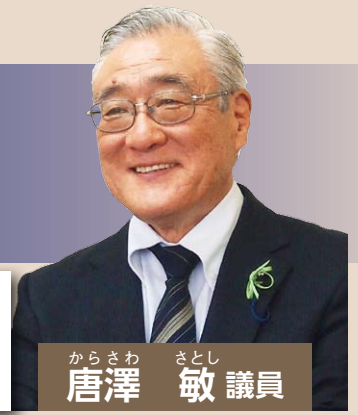
町長 平成26年に同盟会をつくりリニアの時代における飯田線の活性化をどうするか活用をどうするかという議論をさせていただいた。リニアの時代の二次交通としての飯田線の在り方をどうするかとか、そういった議論をしてきた。願わくば一番のところはあずさが入ってくる、中央線から飯田線に入ってくるということが私は一番大事だと思っている。

選挙公報の ホームページ公開は

問 箕輪町外にいと選挙公報を見る機会がない。選挙公報をホームページで閲覧できるようにできないか。

選挙管理委員長 選挙公報をホームページに記載する手法が最も早く候補者の情報を有権者に伝える手段の一つであると考えている。長野県の選挙では県のホームページに記載しているので町長選や町議選など町選管管轄の選挙においても町のホームページに記載する方向で検討していきたい。

関係人口創出拠点として 長田周辺の開発を



からさわ さとし
唐澤 敏 議員

町長 ワークーションを視野に研究する



行財政運営

問 2期8年間の行財政運営についての所感は。

町長 新型コロナウイルス感染症対策については、ワクチン接種をはじめとして町民に寄り添った対応をしてきた。子育て政策や移住定住促進などにも取り組んできたし、中堅職員が政策課題に向けて働きやすい環境づくりを心掛けてきた。

問 財政指標にみる今後の課題についての認識は。

町長 保育園建設や耐震化などの公共事業への歳出が増えている。繰上げ償還や財政調整基金などを活用しながら、ハード事業に係わる財政への影響を少なくしたい。

問 諸般の情勢のなか、経常収支比率の動向が心配となるが。

町長 人口規模が縮小するなかで、新しい行政課題への対応が迫られる一方、人件費をどうしていくかが大きな問題になってくる。

問 物価高騰下における財政の見通しと対応については。

町長 令和5年度以降の税収に課題が大きい。短期的には、原油高騰を含めた対策を秋から冬にかけて講じていく必要がある。

問 公共施設の耐震化や長寿命化をどう進めていくか。

町長 基本は公共施設等総合管理計画の個別計画編をローリングするなかで、耐震化や長寿命化を実

施する。福祉センター代替となる防災交流施設以外の新しいものは造らないという発想で進める。

問 一層の情報公開のため、財政シュミレーションの公表を。

町長 ハード事業を進めるにあたって、財政状況等について町民の理解が必要である。振興計画策定時などにシュミレーションをかけてあるので、条件設定を工夫しながら公開に取り組んでいく。

問 国民スポーツ大会に向けた関連施設の整備をどう進めるか。



町民体育館と武道館 ～国民スポーツ大会のフェンシング会場に備えて改修の予定～

町長 大会会場となる町民体育館や武道館の機能強化も含めた改修を予定している。来年度は実施設計に入り、再来年度から着工して、事前の大会等に備えたい。

問 DXやスマート化を、今後どのように展開していくか。



長田周辺の眺望 ～ワークーション拠点として期待される～

副町長 直接の住民サービスにかかわる部分を中心に、電子申請や設備予約等について、ワーキンググループで検討を進めている。

人口減少対策

問 関係人口創出拠点の拡大・強化を西山方面でも図れないか。

町長 夢まちLaboは関係人口拡大でよい状況にある。農業体験なども含めて、ワークーションの可能性についても研究してみたい。

問 地域づくりを支える人材育成について社会教育の視点からは。

教育長 公民館活動のなかで、課題解決的なプログラムの工夫を行い、参加者が地域のなかで主体的な活動ができるようになるためのあり方を考えていきたい。今後も、地域の人材育成を意識した講座等の運営を進めたい。

その他の質問

● 地域コミュニティの活性化について

箕輪町内で頑張っている皆さんを紹介

認知症予防やフレイル予防で大切なこと

- 家族の一員、地域の一員として役割があること。
- ご家族や地域の方が認知症、フレイルに対する理解をすること。
- 家に閉じこもらずに外出機会をつくり地域とのつながりを絶やさない。オレンジカフェに参加。電話もOK。
- 体操以外、家事、庭いじり、畑仕事など体を動かす機会を増やす。
- 薬局が主催するオレンジカフェは、県内でも珍しく高評価。薬剤師による、お薬の視点からの認知症予防の講演や交流



運営で工夫されていること

- 健康体操、ボードゲーム、コグニサイズ（頭の体操と運動を一緒に行うこと）中でもスクエアステップは大好評。
- 調理は最適な脳トレ管理栄養士のレシピ付。
- 地域で支えてあげたいと思う方も参加できる内容。
- 個別で相談できる場所や雰囲気づくり。
- 参加者参加型の運営を心掛けている。
- 歯科衛生士さんの口腔ケア、口腔体操、認知症予防体操など、参加者全員で楽しめる内容に。



スクエアステップ



卓上カーリング



コグニサイズ



ボードゲーム

スクエアステップの運動は、やってみたらできて楽しかった!

お薬が残るなど薬の質問に丁寧に答えてくれて疑問が解消

調理など家に帰っても日常的に生かしている

困りごとなど相談できる場所があるのは心強い。明日は我が身なので心配だったが、安心して今の生活を続けていきたい。(今後が不安なご夫婦)

参加者の声

認知症について勘違いしていた。どのように支えていけばいいのか考えるきっかけになった。(地域の方)

一人で抱えずまた相談に来たい。(認知症のご家族)

脳トレ体操は一人ではできないが、皆と笑って体を動かすことが毎回楽しみ。

話に来てスッキリした。いろんな情報をいただけて励みになった。

アンケートでは、多数のご意見を頂きましたが、抜粋して掲載させていただきました。ご協力誠にありがとうございました。

誰もがなりうる認知症を理解し寄り添い支え合うことができる地域づくりが求められています。各地区にいつでも気軽に立ち寄れる居場所ができれば素晴らしいですね。(オレンジカフェ主催者より)

編集後記

1人キャンプ、家族キャンプのブームが高まっています。飯ごうでご飯を炊く、竹筒で炭火を起こすことは、現在家庭生活では見る事がなく、キャンプならではの光景ではないでしょうか。大人と子ども家族みんなで夕食の支度をし、バーベキューをしながらのひと時。正面にそびえ立つ、西山、中央アルプス、秋の夕暮れ時の山なみに美しさを感じました。すばらしい表紙の取材をさせていただきました。(松本五郎)

議会だよりに関するご意見がありましたらお寄せください。

役場議会事務局 電話79-3187(直)
メールアドレス gikai@town.minowa.lg.jp

【議会広報特別委員会】

- 委員長 釜屋 美春 □副委員長 青木 俊夫
- 委員 木村 英雄 / 松本 五郎 / 中澤 千夏志